

学校名	新座市立栗原小学校
実施日	令和3年1月15日

<記入の仕方>

○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、元気な学校をめざし、明るいあいさつと返事を継続的に指導し、成果を上げている。(独自)	A	コロナの影響もあり、これまでよりも元気さは少なくなったが、マスク着用でも、しっかり聞こえる声であいさつしようとしている児童が多い。人に会ったら挨拶をするという習慣が根付いてきている。今後も意識的に指導を重ねていく。	A	マスク着用ではあるが、明るいあいさつをしている児童が目立つ。継続した指導をお願いする。
2	学校は、主体的に学ぶ児童をめざし、学び合いのある授業や習得が実感できる授業を行っている。(独自)	B	密を避けることが求められるため、学習活動に制限が生じているが、児童の意欲を引き出す仕掛けをしたり、自己決定させる場を設定するなど、工夫して学び合いのある授業を行っている。さらに学習の定着を確認することも丁寧に行っている。	A	休校期間を経て、学力の差だけでなく精神的な成長にも大きな差が出ていると思う。その中での指導は難しいと思われるが、互いの授業を見合うなどの取組を通して情報交換をし、学校全体でフォローしながら指導にあたってほしい。
3	学校は、清掃指導や掲示教育をとおして、学ぶ意欲が湧ききれいな教室環境を整備している。(独自)	B	6年生が1年生に掃除を教える取り組みが有効だった。さらに黙々清掃の意義を理解させていく。作品掲示の充実が図られている。異学年交流の視点から、今後は2階と3階の作品を入れ替えて掲示するなど工夫していきたい。	A	掲示物がよくリニューアルされている。作品内容の充実も図られてきている。清掃活動も熱心である。さらに、清掃用具の片付けなどの徹底が図られるとよい。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	今年度は様々な行事がなくなったこともあり、分掌の仕事量や内容に差が出てしまった。教職員の人数が少ない中、それぞれが複数の役割を担う体制だが、主任まかせにせず相談する組織・時間を確保していく必要がある。	A	教職員がチームで協力・協働する姿をよく目にしており、引き続き組織的な運営を期待する。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	前年度踏襲のものも、新しい目線で見直し、必要な変更・修正を行っている。より組織的に運営するために学校評価の結果を検討する時間を持つように努める。	B	学校評価等の課題を改善すべく、具体的な次の一手を講じている。年度内でも変更・修正などあり、PDCAに基づく学校経営がなされている。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	整備はされているが、共通認識は十分とは言えない。来たるべく災害に対して子供をどのように守るか、また地域の中で避難所となったときの教職員の役割と動きについて等、過去の事例を参考に研修したい。	B	コロナ対応も含めて、幅広い危機管理体制が求められる。引き続き迅速に対応できるよう、定期的に研修を深めてほしい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	休校措置により学習ルールが崩れた部分もあるが、栗原のきまりに基づいて授業を展開している。規律ある授業でありながら、子供たちが生き生きと発言や活動できるよう努めている。さらに学力の定着を確実にしていく。	A	栗原小学校の学習ルールに基づいた授業が展開できているようだ。学力向上に向けて指導を重ねていただきたい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	校内研修が生かされ、どの教科でも言語活動が充実してきている。思考力・判断力・表現力を教科横断的に身に付けさせるために、授業では自己決定する場や交流を深める場を意図的に設定しているが、さらに発問の質にこだわってほしい。	B	思考力・判断力・表現力等の育成を念頭に置きながら、授業を組み立てている様子がうかがえる。さらに、研修等で指導の工夫・改善に努めてほしい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	新学習指導要領を意識し、教材研究に熱心に取り組みながら授業を展開している。学力調査の結果分析を全職員で行い、さらに指導の工夫改善に努めたい。	B	国・県・市の指導資料をさらに読み込みながら、指導の工夫・改善に生かしてほしい。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	B	校内放送で英語に触れる機会を作るなど、工夫している。今後は、学級担任主導で授業展開できるようにスキルアップしていく。	A	特に低学年の児童が楽しんで学んでいるようである。学級担任の指導力アップを期待したい。英語を楽しく学び、世界に通用する人材を育てていただきたい。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	A	低学年から敬語と「です。ます。」を使うように適宜指導しているが、個人差、学年・学級差がある。身に付くまで繰り返し指導をすることが必要。職員全体で意識していく。	A	高学年がよくできている。低学年から、あいさつのみならず言葉遣いについても継続指導をお願いしたい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	毎月のアンケート等で実態を把握し、いじめの発見・解決に努めている。また、教職員は児童に関する情報交換を進んで行っている。トラブルに対し、迅速丁寧に対応しているが、組織での対応とスピード感をより一層強化していきたい。	B	意地悪な行為を見逃さず、根気強い指導をお願いする。家庭・地域との情報共有も求められる。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	A	清掃時には、児童と共に行動するなど、意識して取り組んでいる教職員が多い。職員同士の関わり合い方も児童の手本になっている。今後もコミュニケーションを回り、共通理解しながら指導にあたっていく。	A	教職員が、様々な場面で率先垂範する姿が見られる。コロナ禍で生活が一変し、今までには見られなかった感情が大人も子どもも出てきているようだ。教職員の団結力・チームワークは児童にも伝わるので、引き続きお願いする。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A	体育の授業に力を入れていることや、体力アップカードの取り組みにより、児童の体力向上への意識が高まっている。体育の授業をきっかけに日常の遊びにつながるような工夫をしていく。	A	体力向上に向けて、学校全体で熱心に取り組んでいる様子が見える。(業間パワーアップなど) 成果に期待する。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	新型コロナウイルス感染症に関わって、衛生面の配慮も必要なことから、いつも以上に健康には気を配ってきた。栄養士が作っている「まるんめも」を放送で読んだり、養護教諭による保健室の掲示が効果的。食や健康への関心や感謝等、計画的に指導していきたい。	A	このような状況下であるからこそ、健康教育の推進が求められる。児童一人一人の意識を高められるよう、具体的な指導をお願いする。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	B	学校運営協議会、PTAや応援団、保護者、地域が大変協力的。現在の状況下では、個別の連携になりがちなので横の連携を工夫したい。	A	HPでの情報発信が多く、なかなか協力を得られない人たちへのアプローチにつながっていると思われる。さらに連携が深められるよう、工夫できるとよい。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	PC支援員の協力もあり、ホームページの情報更新が速くでき、より内容が充実している。子供達や学校の様子がより伝わるように、常に見直しながら推進したい。	A	今年度は学校へ行く機会が極端に少なかったが、活動や授業の様子の画像が多く、子供達の元気な様子が伝わった。今後も継続した情報提供をお願いしたい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	コロナ禍で難しさもあるが、感染予防に配慮しながら、進めている。保護者・地域の協力が温かい。今後は、同じ保護者に頼っている状況を改善し、参加者を増やしたい。	A	コロナ禍の活動がうまく進められているという印象を受けた。学校応援団活動が充実してきているが、さらに活動の輪が広がることを期待する。学校・保護者・地域が連携し、よりよい学校づくりを目指して協力したい。